

## 令和5年度都立つばさ総合高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の指導の充実</li> <li>・「話すこと・聞くこと」の指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認</li> <li>・校内での漢字検定を年に3回実施</li> <li>・「話し合うこと」の指導に関する科内研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」についての指導方法の開発</li> <li>・大学等主催の小論文コンテストへの応募</li> <li>・「話し合うこと」をもとにしたプレゼンテーションの実施</li> </ul>
地理歴史 公民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料(史料)から読み取る力の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表やグラフなどの数値の割合や変化から、その意味を読み取る実践。</li> <li>・図像や文章から、そこに込められた主張・意図を読み取る実践。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料(史料)から読み取った内容を、学習している概念・思想・人物などと結び付けて深く理解し、表現する実践。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な見方</li> <li>・基礎・基本の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて数、式、図、表、グラフ等を活用しつつ、論理的に考えることができるよう授業等を通じて支援する。</li> <li>・各単元において基礎・基本部分の理解度を向上させる授業展開を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や社会の事象などを数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決し、解決過程を振り返り得られた結果の意味を考察する機会を創出する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識をもとに事象を理論的に捉えることのできる学習活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な知識の定着を目的とした授業の展開</li> <li>・実験を行った上で、目の前の事象を論理的に思考考察できるレポート作成などの指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通テストのレベルをベースとした大学入試過去問の取り組み。</li> <li>・自己の理解した内容を他者に説明ができる、発表ができる場の設定。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニケーション力」、特に「話すこと」および「書くこと」の指導の充実</li> <li>・「表現力」を磨く指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語コミュニケーションⅠ・Ⅱにおいて、JETとのチームティーチング授業で英語でのコミュニケーション力を育成する。またJETによるパフォーマンステストを各学期で実施する。</li> <li>・論理表現Ⅰにおいてライティングおよびスピーチ指導をし、各学期でプレゼンテーションを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語表現Ⅱにおいて、各レッスンで自由英作文を課し、一定の長さの英文を書けるよう指導する。</li> <li>・英語会話X,Yにおいて原則毎時間JET/AETとのチームティーチング授業で生徒の英語によるコミュニケーション力をさらに育成する。</li> <li>・英語会話Yにおいて英字新聞などを読み、要約をクラス全体で発表させ、語彙力と表現力をさらに強化・育成する。</li> <li>・英検の面接指導(2級、準2級中心)を複数回実施する。状況説明や意見を述べるなどさらに表現力を育成。</li> </ul>